2022年度リプレイスに向けた「新NACSIS-CAT/ILL」の変更点 (2022年12月末時点)

作成日：2023/1/25

No.	項目	内容	図書館システムや各参加機関で必要となる対応	確認日
1	新規データの プレフィックス変更	新NACSIS-CAT開始以降（2023年1月以降を予定）の新規データについて、全データセット（図書書誌／所蔵、雑誌書誌／所蔵、典拠、参照データ）のプレフィックスの変更を行います。 *プレフィックスとは、データID (https://catdoc.nii.ac.jp/MAN2/CM/2_1_1.html) 先頭2桁のアルファベットのことです。 新NACSIS-CATで使用予定のプレフィックスは「別紙　新NACSIS-CAT使用予定プレフィックス一覧」をご覧ください。	新NACSIS-CAT開始以降、お使いの図書館システムで「新NACSIS-CAT使用予定プレフィックス一覧」 にしたがって、新たに付番されるIDが取り扱えるように、ご対応ください。 **新NACSIS-CAT使用予定プレフィックス一覧 (2022/6追記)** https://contents.nii.ac.jp/sites/default/files/korekara/2022-07/nacsis-cat_prefix.pdf	2021年12月時点 2022年6月変更
2	CATP/1.1スキーマバージョン1以前のサポート内容変更	新NACSIS-CATでは、CATP1.1 スキーマヴァージョン２のサポートを中心とし、より古いバージョン（CATP1.0、CATP1.1 スキーマヴァージョン1）へのサポート内容を以下の通り変更します。 ・検索以外のすべての操作がエラーとなる ・検索した場合に上位のスキーマバージョンの値も返戻される 返戻される項目は以下の「8 スキーマバージョン定義」をご覧ください。 https://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/INFO/newcat/catp1.1/CATP_1_1_changed.html CATP1.1 スキーマヴァージョン2をリリースして20年近くが経過しておりますため、何卒ご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。	上記制約の上で、CATP1.0、CATP1.1 スキーマバージョン1を継続して使用することはできますが、CATP/1.1 スキーマバージョン1以下のシステムをご利用の機関におかれましては、CATP/1.1 スキーマバージョン2以降への対応についてご検討ください。 ※ニュースレターでは「図書館システムや各参加機関で必要となる対応」を「アナウンス」の下に掲載しますので、「上記」としています。	2021年12月時点

No.	項目	内容	図書館システムや各参加機関で必要となる対応	確認日
3	RELATIONの提供様式の変更	CAT2020にて提供を開始しましたRELATIONにつきまして、現行システムでは日次のRELATION作業を行っていますが、新NACSIS-CATでは、登録された書誌データに対し、より高頻度でのクラスター化作業を行い、RELATION機能を向上します。 高頻度のクラスター化作業に対応するため、新NACSIS-CATでは、グループID（FID）が一意ではなくなります。 現行システムでは、一つのFIDのもとに、RELATION対象である書誌IDが追加・削除されますが、次期システムでは、クラスター化作業ごとに、適宜書誌IDが属するFIDが付け替わります。 現行のFIDの仕様につきましては、以下のRELATIONの項目をご覧ください。 データベースフィールド定義 https://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/INFO/newcat/jissou_siyo/table_home.html	これまでRELATIONや、RELATIONデータに含まれるFIDを使用したサービスを運用されていた機関におかれましては、システムへの実装方法の変更が発生する可能性がありますので、ご調整いただきますよう、よろしくお願いいたします。	2021年12月時点
4	Z39.50クライアント機能における利用可能なデータベースの変更	Z39.50クライアント機能（https://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/infocat/z3950/）で検索対象とする、ドイツ語書誌データベースをHBZ (Hochschulbibliothekszentrum des Landes Nordrhein-Westfalen: ノルトライン－ヴェストファーレン州大学図書館センター) からGBV (Gemeinsamer Bibliotheksverbund : 共同図書館ネットワーク) へ変更します。 GBVは、1982年に設立されたドイツ7州からなる共同ネットワークでK10plusというユニオンカタログを提供しています。 K10plusは6500万件を超える図書、会議資料、逐次刊行物、学位論文、マイクロフィルム、電子資料の書誌情報を保有し、GBVとthe Library Network Southwest Germany (SWB) の1,000機関が参加しており、より幅広い書誌データの利用が可能となります。 HBZの提供終了により、参照データセット名「HBZBKS」が新NACSIS-CATへの移行後、使用不可となります。GBVの参照データセット名は図書目録データ「K10PB」、雑誌目録データ「K10PS」を使用予定です。検索語指定可能フィールド等の仕様につきまして、詳細が確定しましたら、クライアントのためのガイドライン案（https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/catill/client_guidelines）でアナウンスを行います。	新NACSIS-CAT開始後、お使いの図書館システムで新たなデータベースがご利用可能となるように、クライアントのためのガイドライン案にしたがって、参照データセット名の変更及び検索語指定可能フィールド等の設定変更を行ってください。 **K10Plusの接続利用のガイドライン案（2022年10月31日時点）(2022/12追記)** https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/catill/client_guidelines	2021年12月時点 2022年12月変更
5	CATPの「SEARCH」メソッドの制約追加	Database-namesの指定（https://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/INFO/newcat/catp/chap404.html）において、これまではCATのデータセットとILLのデータセットの混在が許容されていましたが、新NACSIS-CATでは許容されなくなります。	本件は、ほとんどの図書館システムでは問題とならないことを確認しておりますが、本仕様にかかる機能を用いている可能性がある場合は、ご確認、ご対応いただければと存じます。	2021年12月時点

No.	項目	内容	図書館システムや各参加機関で必要となる対応	確認日
6	Z39.50ゲートウェイ機能のSRUゲートウェイ機能への変更	Z39.50ゲートウェイ機能（https://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/infocat/z3950/z3950_gw.html）について、Z39.50（ISO 23950）がWeb普及以前の古い規格で、技術者を確保し継続的にメンテナンスを行うことが困難となっております。そのため、新NACSIS-CATでは、Z39.50ゲートウェイ機能の提供を停止し、後継規格でありHTTP/HTTPS上で動作するSRU*（Search/Retrieve via URL）ゲートウェイ機能の提供を開始します。 ＊SRUに関する説明は以下をご参照ください： http://www.loc.gov/standards/sru/index.html なお、上記理由から、新NACSIS-CATでのZ39.50ゲートウェイ機能とSRUゲートウェイ機能の並行稼働は予定しておりませんのでご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。 SRUゲートウェイ機能の申請日につきましては、調整後、以下にて通知いたします。 https://contents.nii.ac.jp/korekara/news	本仕様にかかる機能を用いている場合は、SRUの仕様案を以下にて公開しておりますので、ご参照の上、対応をご検討いただければと存じます。 **新NACSIS-CAT SRU仕様解説** 日本語版： https://contents.nii.ac.jp/sites/default/files/korekara/2022-07/nacsis-cat_sru_jpn.pdf 英語版： https://contents.nii.ac.jp/sites/default/files/korekara/2022-07/nacsis-cat_sru_eng.pdf	2022年6月時点
7	エンコーディングをUTF8、UTF8Eのみに変更	データは、国際的なデータ流通を行いやすくすることや、海外製のパッケージを用いる制約から、システム内で取り扱うエンコーディングを「UTF8、UTF8E」*のみとし、その他のエンコーディングには対応しないことといたします。 ＊UTF8, UTF8Eに関する説明は以下をご参照ください： https://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/system/vista.html **UCS外字の取り扱いについて（2022/12追記）** 本変更にともない、UCS外字（◆Unnnn◆）への対応も停止します。 ＊UCS外字仕様に関する説明は以下をご参照ください： https://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/INFO/newcat/jissou_siyo/ucs-gai.html	本件は、事前に図書館システムベンダー各社へ確認を行い、問題とならない（または対応予定である）との回答を得ています。 しかし、図書館システムを買い取り運用されている場合等で、UTF8、UTF8E以外（JIS7等）のエンコーディングを使用している可能性がある場合は、ご調整いただきますよう、よろしくお願いいたします。	2022年6月時点 2022年12月変更

No.	項目	内容	図書館システムや各参加機関で必要となる対応	確認日
8	Z39.50クライアント機能における利用可能なデータベースの追加	Z39.50クライアント機能（https://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/infocat/z3950/）で検索対象とする、フランス語書誌データベースにSudoc (Système universitaire de documentation、大学記録システム)を追加します。 Sudocは、高等教育書誌作成機関 (ABES) が作成したフランスの総合目録です。 Sudocは1,300万件を超える図書、雑誌、電子資料、視聴覚資料、マイクロフィルム、地図、スコア、写本を含む書誌情報が登録されています。 Sudocの参照データセット名は図書目録データ「SUDOCB」、雑誌目録データ「SU DOCS」を使用予定です。検索語指定可能フィールド等の仕様につきましては、以下をご覧ください。 「クライアントのためのガイドライン案」中の「新NACSIS-CAT Z39.50クライアント機能」 https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/catill/client_guidelines	新NACSIS-CAT開始後、「クライアントのためのガイドライン案」にしたがって、参照データセット名の変更及び検索語指定可能フィールド等の設定変更を行うことで、お使いの図書館システムで新たなデータベースがご利用可能となります。	2022年12月時点
9	空更新時の動作の変更	現行システムでは、既存データに何も修正をせずに「保存」（空更新）を行う場合もRNWDTとRNWFAが更新されますが、新NACSIS-CAT開始以降（2023年1月以降を予定）、既存データに何らかの変更が行われた場合のみ、RNWDTと RNWFAが更新されます。	本件は、ほとんどの図書館システムでは問題とならないことを確認しておりますが、本仕様にかかる機能を用いている可能性がある場合は、ご確認、ご対応いただければと存じます。	2022年12月時点
10	RECONのCRTDTとRNWDTの変更	新NACSIS-CATでは、RECONのCRTDTと RNWDTに表示される値が「19700101」の固定値になります。	本件は、ほとんどの図書館システムでは問題とならないことを確認しておりますが、本仕様にかかる機能を用いている可能性がある場合は、ご確認、ご対応いただければと存じます。	2022年12月時点

No.	項目	内容	図書館システムや各参加機関で必要となる対応	確認日
11	日本名標目形における付記事項の記述文法変更	現行システムの日本名標目形の付記事項にかかる記述文法では、丸ガッコの前にスペースを入力しません。 新NACSIS-CATでは、日本名、日本名以外ともに、名称△(付記事項)||名称ヨミ（△はスペース）に変更します。 登録時にスペースなしで登録した場合、サーバ側でスペースを補い登録します。 ＜対象＞ ・AHDNG、AHDNGR、AHDNGVR ・UTHDNG、UTHDNGR、UTHDNGVR ・HDNGD、HDNGR、HDNGVR ・SAFD、SAFR、SAFVR ・SFD、SFR、SFVR	本件は、ほとんどの図書館システムでは問題とならないことを確認しておりますが、本仕様にかかる機能を用いている可能性がある場合は、ご確認、ご対応いただければと存じます。	2022年12月時点